

(参考様式5)

平成21年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	伊勢市	(横輪地区) 伊勢市全域	17年度～21年度	17年度～18年度

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

ア 施策の内容

(17年度)

・農産物の生産・流通形態を総合的に調査・研究及び調査結果に基づく中長期的な営農計画の検討。

(18年度)

・地域において解消を図るべき遊休農地の実態調査。

・遊休農地を活用した蕎麦や景観作物等の栽培。

イ 施策の実績

(コメント)

(17年度)

・調査結果をJA伊勢と共有し、各集落への説明会等も実施したが、中長期的な営農計画の策定までは至っていない。

(18年度)

・遊休農地の実態調査及び遊休農地を活用した蕎麦や景観作物等の栽培はおおむね計画どおり行われた。

ウ 施策の効果

(コメント)

平成17年度に行った流通調査に関しては、中長期的な営農計画の策定までには至っていないがスーパー等ではどのような野菜の需要があるのかを調査し、調査結果をJA伊勢と共有し各集落へ説明会等を実施することで、営農をする上で参考となり、地域活性化に繋がった。

平成18年度に行った遊休農地の調査に関しては、調査結果を「農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」の遊休農地の農業上の利用の増進に関する事項へ修正・変更して盛り込み、積極的に遊休農地の発生防止及び解消に努めた。

また、遊休農地での農業的、非農業的活用による遊休農地解消については、今回事業により、遊休農地解消の必要性の意識の向上が見られ、農地・水・環境保全向上対策事業等も活用し、今後も遊休農地解消対策に取り組んでいく予定であり効果が認められる。

施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2) ハード

ア 施策の内容

宮山整備(遊歩道、公園、間伐、植樹、サイン整備) A = 1.17ha

管理施設(直売所、トイレ、外工)1棟・A = 114 m²

交流広場(駐車場、遊歩道、植樹、サイン整備) A = 1,911 m²

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標があるそれらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
農村交流型	新グリーンツリズム 総合推進事業	交流促進施設	伊勢市	横輪町活性化委員会
事業量		事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
宮山整備 11,700m ² 管理施設 1棟(A = 114 m ²) 交流広場 1,911m ²		平成17年度	平成18年度	平成18年11月25日

事項	単位	計画時 (16年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B / A	
都市農山漁村交流施設等における滞在者数(宿泊者数を除く)の増加率	%	(210人)	1,192% (2,503人)	0% (平成17年度) (0人)	0%	施設整備中
〃	〃	〃	〃	6,432% (平成18年度) (13,718人-210人)/210人	540%	
〃	〃	〃	〃	16,472% (平成19年度) (34,802人-210人)/210人	1,382%	
〃	〃	〃	〃	15,277% (平成20年度) (32,292人-210人)/210人	1,282%	
〃	〃	〃	〃	17,749% (平成21年度) (37,482人-210人)/210人	1,489%	

調査年次における実績が計画未満である場合の理由及び改善策(目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること)

(イ) 施設等の利用実績
施設名(交流促進施設)

年次	室名	事項	計画	月別利用実績													
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
平成18年度	管理施設	利用人数	人									1,606	3,230	2,882	2,700	3,300	13,718
	交流広場	利用人数	人									1,606	3,230	2,882	2,700	3,300	13,718
	宮山	利用人数	人									803	1,615	1,441	1,350	1,650	6,859
平成19年度	管理施設	利用人数	人	5,924	3,658	3,574	2,290	2,448	2,238	1,942	3,296	3,164	1,976	1,634	2,658		34,802
	交流広場	利用人数	人	5,924	3,658	3,574	2,290	2,448	2,238	1,942	3,296	3,164	1,976	1,634	2,658		34,802
	宮山	利用人数	人	2,962	1,829	1,787	1,145	1,224	1,119	971	1,648	1,582	988	817	1,329		17,401
平成20年度	管理施設	利用人数	人	7,272	1,992	2,908	1,844	2,092	1,852	1,886	3,470	2,230	1,774	1,838	3,134		32,292
	交流広場	利用人数	人	7,272	1,992	2,908	1,844	2,092	1,852	1,886	3,470	2,230	1,774	1,838	3,134		32,292
	宮山	利用人数	人	3,636	996	1,454	922	1,046	926	943	1,735	1,115	887	919	1,567		16,146
平成21年度	管理施設	利用人数	人	9,264	2,288	3,634	2,028	2,644	2,032	2,134	3,084	2,710	2,306	1,902	3,456		37,482
	交流広場	利用人数	人	9,264	2,288	3,634	2,028	2,644	2,032	2,134	3,084	2,710	2,306	1,902	3,456		37,482
	宮山	利用人数	人	4,632	1,144	1,817	1,014	1,322	1,016	1,067	1,542	1,355	1,153	951	1,728		18,741
備考	管理施設	利用人数算出根拠: 直売所レシート数×2(複数人数の来客が殆どであり、レシート発行数の2倍とする。)															
	交流広場	交流広場には駐車場も含まれるため、上記と同じとする。															
	宮山	利用人数算出根拠: 直売所レシート数×1(複数人数の散策が殆どであるが、レシート発行数と同数とする。)															

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。
 2 調査年度における実績が計画未済である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること。
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に()書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は()書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

<p>(コメント)</p> <p>管理施設(郷の恵「風輪」) 地域活性化の核施設として、計画の目標であった情報発信(イベント情報発信、ホ-ムペ-ジ)、特産品を活かした商品開発(横輪特産品である横輪芋のとろろうどん等)をはじめ、物産の販売を通じ都市との交流促進と横輪町のPRが図れた。</p> <p>交流広場 イベント広場としてイベントを開催し集客数的にも目標であったイベント展開による交流促進に十分な効果があった。(別紙イベント表参考)</p> <p>宮山 横輪桜の山として整備し、横輪桜自体の存在を広く知ってもらうことが出来た。また宮山からの展望等により横輪町の石垣、里山風景、自然といったものを通じ、PR・説明することで交流の促進と地域資源の貴重さの啓発が図れた。</p> <p>施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。</p>

2 指標の達成状況に関する評価

ソフト

	指標	目標値A	実績B	B / A	備考
必須	遊休農地の調査等面積	194ha	3,438ha	1,772%	
	農業的、非農業的活用による遊休農地解消面積	15ha	12.8ha	85%	北浜地区(5.1ha) 豊浜地区(4.7ha) 沼木地区(1ha) その他(2ha)
地域					

(コメント)

遊休農地の調査等面積の目標値は市内の遊休農地の面積であるが、作業的には農地全体を調査したことから、達成率は1,772%となった。

遊休農地の解消については、北浜地区や豊浜地区におけるネギの生産拡大により解消を図っていたが、遊休農地解消に結びつかなかったため、目標達成率は85%となった。

ハ - ド

	指標	目標値A	実績B	B / A	備考
必須	グリーン・ツーリズム交流人口の増加	1,192% (2,503人)	17,751% (37,272人)	1,489%	
地域					

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)ソフト

遊休農地の解消については、北浜地区や豊浜地区におけるネギの生産拡大により解消を図ることとしていたが、ネギの生産拡大が生産調整の転作作物として進んだことや、遊休農地である場所がネギの生産に向かない土地であったことなどから、遊休農地解消に結びつかなかったため、未達成となった。今後は目標達成に向け、景観作物の栽培や野菜の作付け等の推進等遊休農地解消に努めたい。

(コメント)ハ - ド

目標以上の交流人口(来客)があり問い合わせも多数あったことから、目標は達成されたと考えている。

4 総合評価

(コメント)

ソフト事業による目標は未達成であったため、今後も目標達成にむけ、遊休農地解消対策及び遊休農地発生防止へ向けた取り組みを行いたい。

ハ - ド事業においては、目標を上回る集客があり、横輪町PRの歌をCD化するなどの情報発信、商品開発、交流の促進と総合的にみて目標は達成されたと考えている。しかし来客者がイベント日に集中していることから、今後リピ - タ - 及び新規の来客を増やすため、イベント、商品開発等を含め、マンネリ化しないため新たな方策を検討し、テ - マとしている都市住民が自然と親しみ「やすらく」ことのできる里づくりをより一層進めていきたい。

(都道府県の意見)

遊休農地解消対策については、ネギのブランド化推進による生産拡大や整備した直売所の活用等取り組みはあったが、目標達成には至っていないので、JAや関係農家等と積極的に遊休農地対策に取り組むことが重要である。

交流促進施設については、目標を大幅に上回る集客・交流人口があり評価できる。これからも地域産品の商品開発等の研究をつづけ、直売所の販売拡大を図るとともに、地域の資源・魅力を活かした交流イベントの開催等により、交流人口の増加と地域の発展が期待できる。